

柘植地域 まちづくりだより 第229号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

〒五二九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日

二〇一九(平成三十一)年二月十五日(金)



柘植地域俳句コーナー
谷若葉

翁向碑訪ふ
吉野みら
松浦恵子

柘植地域俳句コーナー

桜湯と

真白な湯呑み
出してくる
松尾佐世子

初動リーダーが、 簡易スリッパづくり挑戦

慣れれば1分で製作可能!

なんと

自主防災実行委員会

1月29日(火)夜、第5回初動リーダー会議を開催しました。

会議に先立ち、「防災知識を揚げよう」と、新聞紙を使った「インスタントスリッパ」づくりをしました。このスリッパは緊急時における安全確保&足元保温用です。早速履いてみて、感触を味わいながら会議を行いました。

「簡単に作れて、履いていると温かい」等の声があり効果も確認。このスキルを各区に持ち帰って、拡げていただくことを期待します。



新聞紙で
簡易スリッパ

さて、会議では、

避難所の開設を体験した初動リーダーが、運営本部・総務・受入・管理・救護の各所属グループに分かれて、

昨年秋の「合同防災訓練の振り返り」において出された

問題点に対して、今後どう対処していけば良いかを検討し合いました。

検討結果は、次年度以降の訓練に活かしていけると思います。

この2年間、幸いにも柘植地域には大きな災害が発生しませんでした。初動リーダーのみなさまには、2年間の会議や訓練への参画、お疲れ様でした。任期が終わりましても、今回の体験を生かして防災・減災のリーダーとして、いざと言う時には防災活動にご支援ご協力を宜しくお願い致します。



初動リーダー 任期2年間の最終会議を開催!



昨年の暮れ、12月24日(月)クリスマスイブの午後、市民センターで恒例のコンサートを開催しました。
柘植青葉台区のグリーンリープスによるピアノ・二胡・アコーディオンの



サンタさん 男も女も、大活躍！

恒例のクリスマスコンサート

教育文化部会

柘植地域 林業再生プラン検討座談会

柘植の森林整備実行委員会



1月24日(木)午前、三重大大学の坂本教授をお招きし、今年度3回目となる林業再生をめざした会議を開催しました。

参加者には坂本教授のほか、伊賀森林組合、三重県農林事務所、伊賀市農林振興課の方々がお越しになり、



柘植地域の下町・山出・倉部・小杉から参加した10人とともに、今後の柘植地域における森林管理の方向性を探りました。

関係するすべての区が協力して山林について考えていける機会にしていきたいものです。 ※関心のある方は事務局へお問い合わせください。



演奏の後、参加者全員による「歌声広場」で盛り上がりました。懐かしの唱歌や青春歌謡などを次々と合唱して、時の経つのを忘れて楽しみました。
休憩の後は、サンタさんから「クリスマスプレゼント」があり、続いて「トノ&マシヨンナ」によるマジックショーで会場は盛り上がり、クリスマスイブのひと時を楽しみました。



児童の通学や市民生活の安全対策として 外側線が実現！

先号の「事務局だより」で紹介した案件が、市道路河川課の計らいで2月1日に実現できました。

柘植小学校とともに上町区・下町区・柘植まち協が協力して要望を上げて行くことで、生活に関わる案件が実現したことは意義深いことではないでしょうか。

静岡県富士市からの視察受入



1月25日(金)
午後、静岡県富士市より23名の方々がお越しになりました。

富士市では生涯学習の観点から住民自治組織が設立されるという歴史をもっており、自治センター化や担い手不足の課題など同様の課題を有しています。柘植地域と重なる課題や市行政としての課題など、熱心な質疑が交わされました。

大分県宇佐市へ… まち協研修会に招かれて



1月27日(日)、大分県宇佐市の安心院(あしむ)町というところにある地域交流センターで行われた「宇佐市パワーアップ研修」のゲストとしてお招きいただきました。初めて訪れる地でしたが、柘植地域

とよく似た地勢で、同規模のまち協がほとんどで、日々同じような悩みや課題と向き合っておられます。担当者がヒントを探すうちに柘植地域の取り組みが目にとまりました。

宇佐市のまちづくりで特筆すべきことは、市行政が大分大学と提携することで、ゼミ生が地域に入って『まちづくり計画書』改定作業や製本まで協働していたことです。



大学生が地域の活性化に寄与している様子がよくわかりました。また、廃校になった中学校を市より指定管理し、調理室でワンコインカフェをしたり、ワンコイン居酒屋までしている点は興味深かったです。

地域における学びの交流会

1月25日(金)、伊賀市中央公民館(ハイトピア)で、市内自治協や公民館関係者等を対象に生涯学習課主催交流会が行われました。

合併後15年経っても、旧市町村の違いが大きく残る中、市内各地の公民館活動のありようや担い手不足・有識者減少という課題を共有しました。



いがまち地域をはじめ郡部は、自治協議会と公民館活動のしくみが異なります。それが原因での課題もありませんが、市内各地との交流を持ちながら、進んで行くことが求められています。

「合併特例債の期間をあと2年延ばしたい」

～タウンミーティング開かれる～

回覧等にて周知されていた市の行政説明会(タウンミーティング)が、2月7日(木)夜、岡本市長をはじめ各部長等が列席の下、いがまち公民館で行われました。参加した住民は柘植・西柘植・壬生野から合わせて約70名でした。

「当面のまちづくり～持続可能なくりに向けて」と題し、次の3点が関係部署から説明されました。



- ①新市建設計画(伊賀市まちづくりプラン)変更の概要
- ②「キラッと輝け!地域応援補助金」について
- ③庁舎移転後の市街地の賑わいづくりについて

説明の後、市と住民の間で約1時間、懇談をしました。今後は、パブコメ期間(2/15～3/14)に入ります。

男だらけの自治会改革

伊賀支所男女共同参画セミナー

1月5日(金)夜、ふるさと会館いが小ホールで、伊賀支所主催の研修会が開かれ、いがまち各区から約70名の方が参加されました。

講師の三重県男女共同参画センター職員 服部亜龍さんから、担い手不足の実状にあつた地域づくりのため、役員の間口を広げ、性別にかかわらず多くの人が協力し合うことが重要であることを最新データや自らの経験を活かしてお話いただきました。



伊賀市男女共同参画都市宣言

私たちは

ご存知でしたか?

性別にとらわれず 互いを人として尊び
それぞれの個性と能力をいかせるまちをめざし

社会のあらゆる分野で

共に参画し 責任を分かち合い

のびやかで 心豊かに暮らせるまちをめざし

豊かな自然と培われた文化を次代につなげ

平等と平和が根づくまちをめざして

ここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成17年9月26日

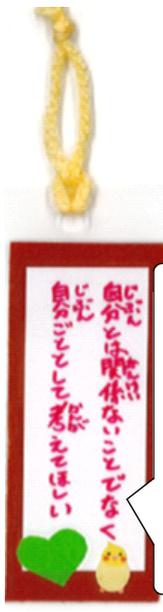
伊賀市

「予防としての意味もある！」

2月1日(月)建国記念の日)の午前、いがまち人権センターで第39回前川解放文化祭が開催されました。



大勢の方の前で、保育園児・小学生・中学生・高校生がそれぞれ思いを発表。会最後には、保護者一人ひとりからわが子や参加者に向けて力強いメッセージが発信されました。



参加者に配られたしおり

映画でも学べます！憲法のエッセンス

部落解放研究三重県集

2月2日(土)、県総合文化センターで開催された本集会では、全体会・分科会がありました。



午前は「世界史の中の日本国憲法」と題した記念講演、午後は「部落問題」「ヘイトスピーチ」等のテーマで分科会が開かれました。
(いがまち同研から約40名が参加しました。)

人権・同和問題地区別懇談会

最終報告会



2月5日(火)夜、伊賀支所主催の報告会があり、各区の区長ならびに啓発推進委員、柘植小学校・中学校の担当職員が参加し、今年度一年間の取り組み報告を行いました。



また、まち協人権同和部会にて作成中の「人権意識調査」リーフレットについての報告もあり、来年度の取り組みに活かすことが確認されました。

☆☆☆事務局だより☆☆☆

▼会長と事務局長で宇佐市へ行ってきました(3ヶ参照)。当日は九州にもしつかり雪が降りました。▼この冬は総じて雪が少ないですが、それでも積雪して白くなっている霊山を窓から見ることがあります。荘厳な気持ちになります！神々しい霊山に見守られ、隣には都美恵神社。柘植駅は近い。加えて名阪国道がある。なんと恵まれていることか！▼柘植の市民センターは市内でも景色&立地が格別にいいところだとつくづく思っています。(西田方計)